

米原警察署協議会議事録

開催日時	令和3年12月9日（木）午前10時～午後0時	
開催場所	米原警察署 4階会議室	
出席者	委員	山崎完一会長、八田能雄委員、藤本敦子委員
	警察	署長、次長兼警務課長兼警備課長、会計課長、生活安全課長 地域課長、刑事課長、交通課長、警務係長
議事概要	<p>【文化祭の審査】</p> <p>委員は、署において開催中の文化祭を観覧し、優秀作品の選考を通じて、職員の働き方改革や職場活性化への取組状況を確認した。</p> <p>【警察署協議会】</p> <p>1 会長挨拶</p> <p>会長から「新型コロナウイルスの影響で、これまで様々な自粛要請や制限が課せられ、警察業務にも支障が生じていたと思われる。現在、歳末特別警戒を強化しているところであるが、感染対策を講じた上で米原市民が安心・安全に生活できるようご尽力いただくとともに、署員及びご家族の健康にも留意いただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「署員一丸となって歳末特別警戒を実施し、犯罪や交通事故抑止活動に努めている。今月は、県下一斉の特殊詐欺撲滅作戦を実施し、ATMへの立寄り警戒を強化して、高齢者等への注意喚起を行っている。引き続き、安心・安全なまちづくりに向けた各種取組を強化する。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 警察署協議会代表者会議の結果報告</p> <p>会長から「11月18日、警察本部において開催された警察署協議会代表者会議に出席し、警察署協議会の在り方や今後の取組方法等について意見交換した。米原警察署協議会では、地域の声が警察活動に反映されるよう、住民目線で積極的に提言し、協議会の使命役割を果たしていきたい。」旨の報告がなされた。</p>	

(2) 議題「高齢者交通事故抑止対策について」

警察から、高齢者交通事故抑止対策についての報告があり、発生状況、運転免許証自主返納状況、体験型安全教室等について説明がなされた。その際、委員から「高齢者が、運転免許証を自主返納しやすい環境を整備することが重要であり、自治体等に対して運転免許証自主返納の支援施策について働き掛けることが必要である。」「警察が体験型安全教室で用いる危険予測トレーニング（KYT）機材の自治体等への導入と、警察と自治体等が連携した取組が必要である。」旨の発言がなされた。警察から「広報啓発活動などを通じ高齢者には自主返納を促している。」「自治体等側には自主返納の特典拡充などを引き続き要請していく。」旨の説明がなされた。委員から「主に高齢者が対象となる体験型安全教室には高齢者だけでなく家族も参加することが、自主返納を強く促す転機となるかもしれない。」旨の発言がなされ、警察から「高齢運転者やその家族からの自主返納に係る相談について対応する中で家族参加型の体験教室等を開催し、各種支援制度の教示等も行い、自主返納を促進したい。」旨の説明がなされた。委員から「犯罪被害を防止する広報啓発等に関しては、イラストを用いるなど、誰もがわかりやすい内容を望む。」旨の発言がなされた。